

平成29年度
全国学力・学習状況調査

北見市の調査結果の概要

平成29年10月
北見市教育委員会



平成29年度全国学力・学習状況調査 北見市の結果等の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図り、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

小学校第6学年、中学校第3学年の原則として全児童生徒

3 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

① 教科に関する調査

ア 小学校調査は、国語・算数とし、中学校調査は、国語・数学とする。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など（主として「知識」に関する問題）を中心とした出題
- ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容（主として「活用」に関する問題）を中心とした出題

ウ 出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

② 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

(2) 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）を実施する。

4 調査方式

悉皆調査（対象の全児童生徒）

5 調査期日

平成29年4月18日（火）

6 調査を実施した学校・児童生徒数

	小学校児童数	中学校生徒数
全国（公立）	1,011,445	990,567
北海道（公立）	39,174	40,417
北見市	824	991

7 平成29年度北見市教育委員会「全国学力・学習状況調査」の結果公表取扱要領

（平成29年7月5日 北見市教育委員会決定）

平成29年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領（平成28年12月16日付文部科学省決定）に基づき、北見市教育委員会における「全国学力・学習状況調査」の結果公表の取扱いを次のとおり定める。

（1）北見市の小・中学校全体の結果概要については公表する。

教育委員会が保護者や地域住民に対して、説明責任を果たすことが重要であることから、北見市の小・中学校全体の教科等に関する調査結果について公表する。具体的な結果公表の内容としては、「小学校」「中学校」別に、次のような内容で提示する。

- ① 平均正答数や平均正答率については、公表する。
- ② 全国や全道との比較ができる図などで結果の概要について示す。
- ③ 児童生徒の学習成果などについて示す。
- ④ 北見市の学力における取組について示す。
- ⑤ その他「特徴的なこと」についてグラフや図等で示す。

（2）北見市教育委員会として、個々の学校の調査結果については公表しない。

学校別の結果公表によって、序列化や過度な競争が生じることが考えられることから、北見市教育委員会として、個々の学校の結果公表は行わない。

（3）「全国学力・学習状況調査」の結果公表取扱については、毎年度決定する。

「全国学力・学習状況調査」の結果公表の取扱に関しては、毎年度、北見市教育委員会で審議し決定する。

Ⅱ 調査結果の概要

1 調査結果の概況

(1) 小学校

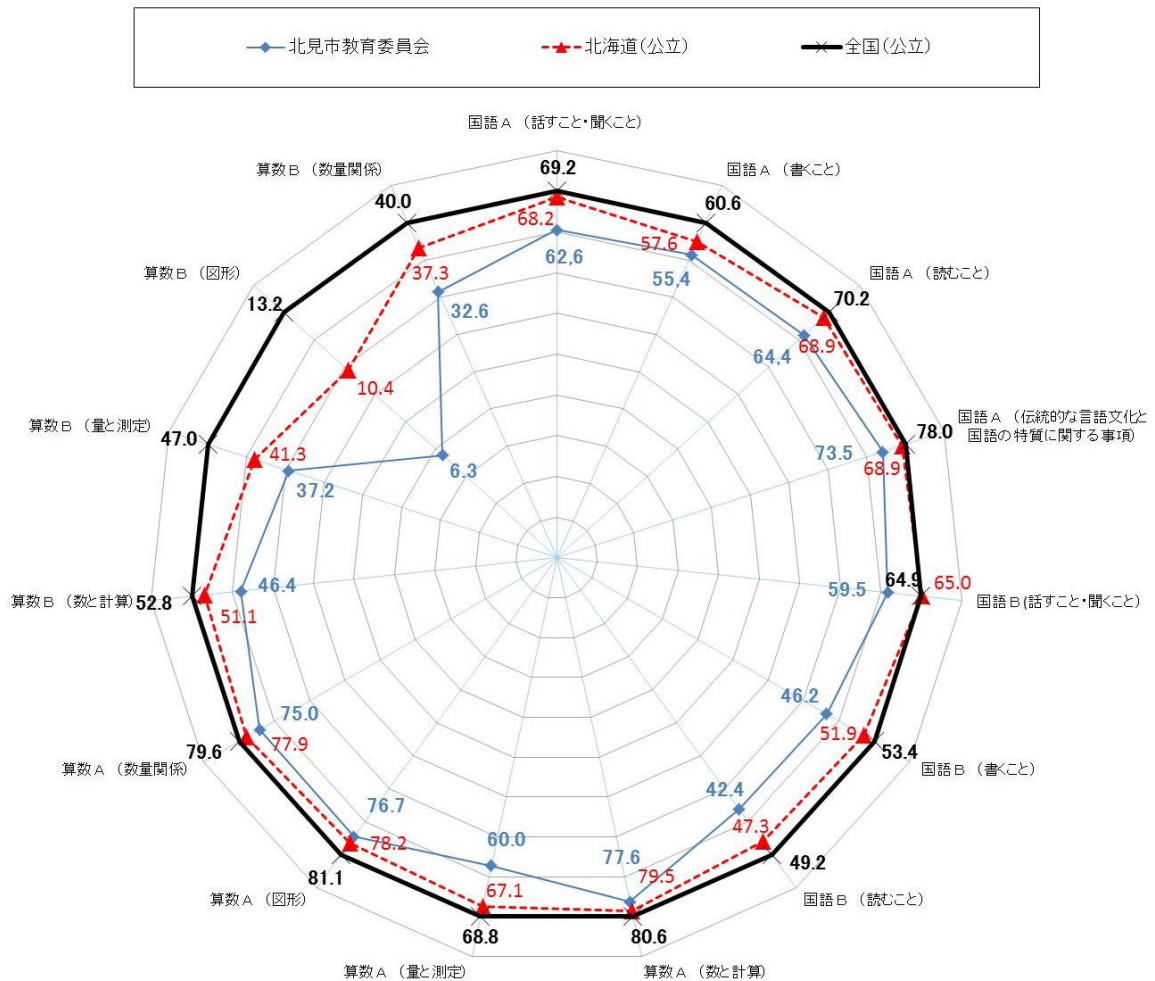
①平均正答率および平均正答数

	国語A		国語B		算数A		算数B	
	全15問中		全9問中		全15問中		全11問中	
	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数
北見市	70.2%	10.5問	51.5%	4.6問	74.6%	11.2問	39.1%	4.3問
北海道	73.7%	11.1問	56.3%	5.1問	77.3%	11.6問	43.5%	4.8問
全国	74.8%	11.2問	57.5%	5.2問	78.6%	11.8問	45.9%	5.1問
全国との差	-4.6%	-0.7問	-6.0%	-0.6問	-4.0%	-0.6問	-6.8%	-0.8問

※平均正答率＝全正答数÷全問題数×100【例(北見市)：国語A 8639問÷12315問×100】

※平均正答数＝正答率×問題数÷100【例(北見市)：国語A 70.2%×15問÷100】

②全教科の領域別正答率グラフ



③各教科の課題等

【国語】

- ◎「読むこと」「書くこと」に課題が見られました。
- 目的に応じて文章を読み、言葉や文を取り上げて自分の考えをまとめる力や、目的や意図に応じて構成や表現を工夫して書く力を育成することが大切です。

(多くの児童ができている内容)

- ◇漢字を正しく読んだり書いたりすること。
- ◇ことわざの意味を理解して、自分の表現に使うこと。

(課題が見られる内容)

- ◆俳句の情景をとらえること。
- ◆物語を読み、自分の考えをまとめること。
- ◆目的に応じ、引用して書くこと。

【算数】

- ◎「量と測定」「数量関係」「図形」に課題が見られました。
- 数量や図形についての知識や技能の定着を図るとともに、判断の理由や解決の方法を説明する力を育成することが大切です。

(多くの児童ができている内容)

- ◇乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解すること。
- ◇商を分数で表すこと。

(課題が見られる内容)

- ◆任意単位による測定について理解すること。
- ◆平均の求め方や式の中の数の意味について、言葉を用いて説明すること。
- ◆図形について理解し、考えたり判断したりした理由を説明すること。

(2) 中学校

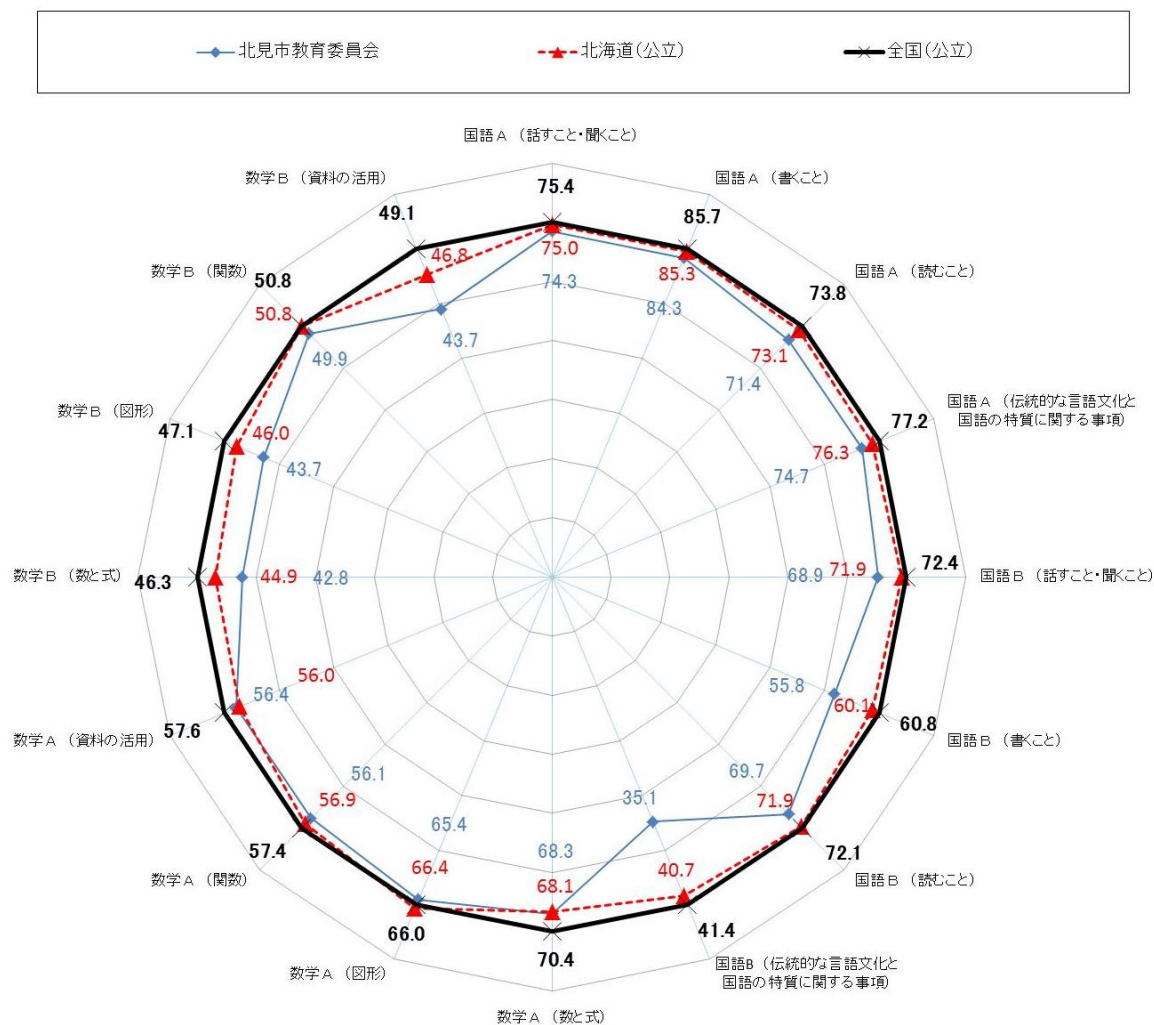
①平均正答率および平均正答数

	国語A		国語B		数学A		数学B	
	全32問中		全9問中		全36問中		全15問中	
	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数
北見市	75.2%	24.1問	69.1%	6.2問	63.3%	22.8問	44.8%	6.7問
北海道	76.7%	24.5問	71.7%	6.5問	63.7%	22.9問	46.9%	7.0問
全国	77.4%	24.8問	72.2%	6.5問	64.6%	23.3問	48.1%	7.2問
全国との差	-2.2%	-0.7問	-3.1%	-0.3問	-1.3%	-0.5問	-3.3%	-0.5問

※平均正答率＝全正答数÷全問題数×100【例(北見市)：国語A 23835問÷31680問×100】

※平均正答数＝正答率×問題数÷100【例(北見市)：国語A 75.2%×32問÷100】

②全教科の領域別正答率グラフ



③各教科の課題等

【国語】

- ◎「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に課題が見られました。
- 書いた文章について言葉を書き直したり書き加えたりする力や、文脈の中における語句の意味を的確にとらえて理解する力を育成することが大切です。

(多くの生徒ができている内容)

- ◇相手にわかりやすいように語句を選択して話すこと。
- ◇目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめること。
- ◇楷書と行書との違いを理解すること。

(課題が見られる内容)

- ◆書いた文章を読み返し、語句の使い方を工夫して書くこと。
- ◆表現の仕方についてとらえ、自分の考えを書くこと。
- ◆比喩などの表現の技法について理解すること。

【数学】

- ◎「図形」「資料の活用」に課題が見られました。
- 数量や図形についての知識や技能の定着を図るとともに、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力を育成することが大切です。

(多くの生徒ができている内容)

- ◇数量の関係を一次方程式で表すこと。
- ◇多角形の内角の和を求めること。
- ◇一次関数の表から変化の割合の意味を理解すること。

(課題が見られる内容)

- ◆空間図形における直線や平面の位置関係を理解すること。
- ◆資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を説明すること。
- ◆数量の関係について、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明すること。

Ⅲ 児童生徒質問紙調査の結果概要

1 児童生徒の学習環境・生活環境に関する調査結果（抜粋）

北見市前年比《↑:改善 ⇔:同等+1未満～-1未満 ↓:課題残る》※()内は全国

質 問 事 項			小学校 %	中学校 %
1	朝食を毎日食べている	H29	↓ 89.7 (95.4)	⇔ 91.4 (93.2)
		H28	94.1 (95.5)	91.1 (93.3)
2	自分には、よいところがあると思う	H29	↓ 69.8 (77.9)	↑ 69.3 (70.7)
		H28	71.7 (76.3)	67.4 (69.3)
3	友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意	H29	↑ 50.0 (52.2)	↑ 50.3 (50.5)
		H28	48.0 (51.7)	49.3 (50.2)
4	将来の夢や目標を持っていますか	H29	↓ 81.0 (85.9)	↓ 68.5 (70.5)
		H28	83.4 (85.3)	72.5 (71.1)
5	テレビ・DVD等の視聴時間が1日3時間以上	H29	↓ 40.5 (32.7)	↓ 32.2 (25.3)
		H28	37.8 (32.8)	29.1 (24.1)
6	テレビゲーム（スマホ・携帯含）の時間が1日2時間以上	H29	↓ 47.4 (31.1)	↓ 45.4 (37.6)
		H28	39.5 (29.7)	42.7 (34.9)
7	インターネット、メール等の時間が1日2時間以上	H29	↓ 19.9 (12.0)	↓ 40.4 (32.2)
		H28	14.6 (10.4)	34.3 (30.1)
8	授業時間以外の、1日当たりの勉強時間が、2時間以上	H29	↑ 17.3 (27.1)	↑ 38.7 (35.4)
		H28	13.6 (25.5)	34.8 (34.2)
9	授業時間以外の、1日当たりの勉強時間が、30分未満	H29	⇔ 19.8 (11.3)	↑ 14.0 (13.2)
		H28	20.7 (11.9)	16.5 (14.4)
10	読書は好きである	H29	⇔ 71.4 (74.3)	⇔ 66.3 (69.9)
		H28	71.8 (74.6)	65.6 (69.9)

2 質問紙調査の結果の考察

「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意」「授業時間以外の1日当たりの勉強時間が2時間以上」と回答した児童生徒の割合が昨年度よりも上回り、学習に向かう姿勢や学習習慣の改善が見られました。

一方、「テレビ・DVD等の視聴時間が1日3時間以上」「テレビゲームの時間が1日2時間以上」「インターネット、メール等の時間が1日2時間以上」の割合が小中学校ともに昨年度を上回り、メディア利用時間の増加が課題となっています。

今後も、生活リズムチェックシートの活用や保護者懇談会での説明など、学校と家庭が連携し、望ましい生活習慣や学習習慣の確立を図る取組の継続が必要です。

Ⅳ 学力向上の取組

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった課題の改善に向けて、次のとおり、学力向上の取組を進めていきます。

【基本的な考え方】

- ◎授業改善に向けた教員の指導力向上の推進
- ◎学習規律の定着や落ち着いた教室環境など学習環境づくりの推進
- ◎ICTの活用など「わかる」授業の工夫・改善と適切な学習指導計画の作成
- ◎家庭と連携した学習習慣の確立と望ましい生活習慣の推進
- ◎読書活動の推進

【具体の取組】 ～「北見市学力向上3つのスタンダード」からのアプローチ～

○学習環境を「つくる」

- ・学習規律の定着、教室環境の整備（学校力向上に関する総合実践事業の取組の活用）
- ・朝読書や家庭における読書の推進（学校司書の効果的な活用）
- ・家庭におけるメディア利用のルールづくり（「生活リズムチェックシート」の活用）

○指導技術を「みがく」

- ・講師による授業参観、講演、指導・助言（指導力向上推進事業研修会の開催）
- ・国語科・算数科の指導計画づくり研修会（学力向上推進委員会との連携）
- ・授業改善を中心に据えた校内研修の推進（北見市研究指定校による実践発表）

○指導方法を「工夫する」

- ・集中力と理解力を高める実物投影機、大型テレビの活用（ICT活用研修会の開催）
- ・「わかる」授業づくり、板書とノート指導（授業改善推進チーム活用事業の実施）
- ・授業と関連した宿題・家庭学習（「家庭学習の手引き」の効果的な活用）

北見市の子どもたち一人一人に「確かな学力」を育むことができるように、学習指導の質の向上に努めてまいります。今後とも市民の皆さまの学校教育、家庭教育へのご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年10月 北見市教育委員会